

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年1月9日

協議会名: 見附市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
北越後観光バス(株) (H29.10.1越後交通(株)と 合併)	コミュニティバス(短縮便) 上見附車庫緑町・見附駅～ パティオにいがた (H29.4.1からコミュニティバス車 庫起点)	JR信越線見附駅へのアクセス を意識し、バスの発着時刻を通 勤・通学時間帯に合わせるこ とで、利用者に対する利便性の 向上を図った。 平成28年10月1日からは、バス を1台増車し、6台体制によるダ イヤ改正を行うとともに、平成 29年4月1日からは発着の拠点 をコミュニティバス車庫へ移設 し、ダイヤの充実及びルート の変更を実施した。 ダイヤ改正時には時刻表の全 戸配布、沿線企業への案内を 行い、周知に努めた。	A 事業が計画通りに位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。	A コミュニティバス 目標利用者数:127,000人 以上 (実績値:155,143人)  A バスの増車(6台体制)、拠 点の整備化により運行本数 の増加、運行間隔の短縮が 可能となり、前年比117.5% となった。	バス運行区域の地域コミュニ ティ等と連携しモビリティマネジ メントの実施を検討し、日常生 活における移動手段としてのバ ス利用を促す。 平成29年度の動態調査を分析 し、利用者の実態に合わせた ダイヤ改正を行う。
北越後観光バス(株) (H29.10.1越後交通(株)と 合併)	コミュニティバス(通常便) 上見附車庫～名木野・見附駅 ～パティオにいがた (H29.4.1からコミュニティバス車 庫起点)				